



須磨消防団第3分団

副分団長 南 俊彦 さん

〔執筆〕
第3分団長 水谷 次雄
須磨という地名は、六甲山系の西端、鉢伏・鉄揚山が海に迫る平地のすみで、畿内の西端に位置するところから、「すみ」がなまって「すま」になったといわれています。須磨は、古くからある南部の市街地と北部の大規模なニュータウンとで構成された、閑静な住宅地です。我々、第3分団の管轄する範囲は、妙法寺地域から、北は東白川台地区までです。創立110年を超える妙法寺小学校を中心に、農村地帯あり

須磨消防団 第3分団



高層マンションありの新旧住宅街がメインの地域です。

さて、ヒーローの意味を調べてみると、「普通の人を超える力や知識、技術を持ち、それらを用いて一般社会にとつて有益とされる行為、いわゆる救世主としての行為を行う」となっています。須磨消防団第3分団で、このヒーローに当てはまる人物といえば、南副分団長です。

南副分団長は、この地域に生まれ育って、平成6年に消防団に入団されました。入団以来、現在に至るまで、夏期訓練の無欠席をはじめ、各研修に積極的に参加され、救急インストラクターや防火管理者、SSC AP（須磨消防団防災リーダー）も第1期で取得されています。身長183cm体重85kgの恵まれた体格を



生かし、各種訓練では指導者として活躍されています。

また、地域においても自治会副会長、農会副会長、地区防災福祉コミュニティ委員と多方面で活躍されているうえに、自治会のホームページの運営を独学で行われており、団の懇親会の模様を写真に撮り、その日の夜にはインターネット上に公開されるなど、異彩を發揮されています。

趣味はバイクとのことで、休日には1300ccのバイクで各地にツーリングに出掛けておられます。バイクのほかにも、大型免許や船舶免許、無線従事者免許、栄養士、調理師、製菓衛生士、何と職場では、お掃除アドバイザーなんていう資格も持つておられるとか…。

そんな南副分団長がまだ手にしていないのが「ヒロイン」。「そう！奥さんです。早く最良のヒロインとの出会いを！」